



今月の記事

クリスマスメッセージ

ボランティアの集い

ユニット便り

リレーエッセイ

今月の愛の園



チャブレン

クリスマス・心からお迎えしましょう 山根貞夫 司祭

12月になると町の様子が変わります。あちらにもこちらにもクリスマスツリー、そしてサンタのおじいさん、クリスマスケーキ、とても楽しいですね。でもイエスさまの姿はあまり見受けられません。

イエスさまがお生まれになったのは、今から二千年以上も昔のことでした。人口調査と言って誰もが生まれ故郷の町か村に帰って登録したのです。イエスさまのお母さんのマリアさんはそのころ、お腹に赤ちゃんを宿しておられたのです。

後にお父さんになられるヨセフさんがマリアさんを守りながら、目的の町「ベツレヘム」に着きました。でも、宿は何処も満員で泊めてくれるところはありませんでした。困りましたね！

ただ一軒だけが戸を開けてくれました。「部屋は満員ですが馬小屋は空いていますよ。藁も沢山ありますから、よろしかったらどうぞお使

いください。」とても親切なお言葉でした。

そしてその夜、イエスさまはお生まれになったのです。飼葉おけがベッドの代わりでした。

町中はクリスマス一色ですね。でもイエスさまがお生まれになったことを知っている人はどれほどおられるでしょうか？私達は心をこめてイエスさまをお迎えしたいと思います。

《愛の園クリスマスのご案内》

- 12月24日(火) 19時 キャンドルサービス
キャロリング
- 12月25日(水) 10時 クリスマス聖餐式
14時 祝会・聖劇



ボランティアコーディネーター

千葉明大

ボランティアの集いを開催

11月16日に「愛の園ボランティアの集い」が開催されました。この集いは日頃から愛の園に来園いただいているボランティアの皆さんの交流とお互いの活動内容を紹介する機会として年に一度行っています。今年も、喫茶、傾聴、やまびこ会、ドッグセラピー、愛の園バザーサークルから計27名の方々にご参加いただきました。

始めに宮崎靖子理事長より「愛の園の創立」というテーマにてお話をいただきました。特別養護老人ホーム愛の園の設立にあたり、資金や土地の確保等において地域の方々の様々なお支えと、数々の苦難があったことを知りました。「キリストの愛を以って互いに仕える」という理念に基づき、その苦難を乗り越えて今現在の愛の園が出来たことのお話を、集まっていたボランティアの方々も真剣な表情で聞いておられました。その後、お互いの活動の紹介を聞き合いました。

今回の集いに参加して下さった米倉さんは田辺市で玩具店を営まれており、カプラ(積み木)を利用したレクリエーションを定期的に入

居者の皆さんに行ってくださっていますが、今回は集いの参加者を対象に教えていただき体験させていただきました。

基礎的な積み方を米倉さんに教わりながら皆でカプラを組み立てました。途中で崩れたりしながらも、米倉さんの見本通りに全員が上手く作成出来た時は皆さん満足そうな表情をされていました。最後に完成したカプラを全員で崩した時には何とも言えない満足感があり、皆さんも歓声を上げて楽しんでおられました。

今後多くのボランティアの方々が愛の園をお支えいただけるよう、ボランティアの集いも続けて開催していきたいと考えています。



宮崎理事長の話真剣な表情で聞く参加者の皆さん



和歌山県ふれあい作品展に出品した湯川一枝さん(100歳)の書「夢」が高齢者賞を受賞しました。おめでとうございます！(11/21)



カプラの説明をする米倉さん



ユニット便り 2ユニット

クリスマスソングのメロディーが聞こえる年の瀬となってきました。私たちの2ユニットを紹介いたします。

2ユニットは個性豊かな入居者の方々ばかりでとても明るく、にぎやかな印象のユニットです。しっかりと意思表示される笑顔が素敵な方々ですが、ともすれば入居者の皆さんの強い個性とパワフルさに圧倒され、職員が振り回されがちで…。毎日毎日2ユニットが様変わりしていきます。時間を見つけてサークル活動に参加したり、外出やレクリエーションの取り組みも視野に入れて意欲を高めています。

職員は思いやりの気持ちを忘れず、入居者の方と常に向き合い、気持ちを汲み取り、お一人お一人の個性を大切にして、その人らしい生活スタイルに合わせ見守っていくことを目標

として日々の支援に励んでいます。

また、入居者の方々と職員がともに季節を感じながら2ユニットで一緒に過ごすことができるよう、職員が助け合いながら努力していこうと思っております。

寒さが厳しくなる折、皆さんの体調を気遣いながら見守ってまいります。



サンタクロース姿でケーキを届けてくださった村松憲さん（12/1）
「編集者から」をご参照ください



壁面を飾る写真。リビングでは素敵な笑顔が溢れます

ユニットリーダー

吉田征弘

リレーエッセイ(18)「私の趣味」

私の趣味は釣りです。小学生の時、友人に誘われたのがきっかけで釣りの楽しさを知り、長年の趣味になりました。

数々の魚種を狙う中、特に夢中になっている釣りがアオリイカ釣りです。餌で釣るのではなく餌木と呼ばれる疑似餌で釣ります。この釣りを“エギング”と言い、人気の高い釣りです。休日の早朝に起床し堤防や地磯で釣りを開始します。

その日の風、潮、天候等を計算し、餌木の色や大きさを変えたり、餌木の動かし方を変えてみたり、どのようにしたら釣れるのか考えながら釣るのが面白い所です。

釣り場で朝日を見たり、辺りが暗い間は外灯が少ない所で釣るので晴天であれば満天の星空が見えたり、運が良ければいくつもの流れ星を見ることもできます。釣り人との何気ない会話もよい気分転換になります。

アオリイカ釣りの魅力は引き味です。秋の季

イカシーズンと春の親イカシーズンに分けられるのですが、親イカになると2～3Kg程に成長します。まだ、1Kg程しか釣ったことがないのですが、それでも竿ごと海へ持っていかれるような引きをします。もう一つの魅力は食味です。刺身、フライ、炒め物等色々な料理に重宝され非常に美味しいイカです。職場に釣り仲間がいるのでいずれは遠征し、泊りがけで釣りに行ければと思っています。

次は2ユニットの永井賢太さんにバトンタッチします。



「キリストの愛を以って
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

ainosono@shinai.or.jp

ホームページもご覧ください。
バックナンバーを掲載しています

<http://shinai.or.jp>

12～1月の愛の園

- 12(木) やまびこ会
- 15(日) 日曜礼拝 大江ピアノ教室演奏会
- 17(火) ひまわり会
- 18(水) 歯科診療
- 19(木) やまびこ会
- 20(金) 岩田幼稚園児クリスマス訪問
- 22(日) 日曜礼拝
- 24(火) マリア会 キヤンドルサービス
- 25(水) クリスマス礼拝・祝会
- 26(木) やまびこ会
- 29(日) 日曜礼拝

- 1(水) 新年祝賀朝礼
- 5(日) 日曜礼拝
- 7(火) マリア会
- 9(木) やまびこ会

編集者から

1日に「日本列島ふれあいサンタクロース」と書かれた自家用車で島根県の村松憲さんが訪問され、入居者の皆さんにたくさんのケーキを届けてくださいました。高校生の時に豪雨災害で避難生活をし、その時に全国から受けた義援金や支援物資に支えられたことの恩返しとして始めた活動で、阪神淡路大震災、東日本大震災、和歌山台風水害など全国各地の被災地を巡り、避難所、老人施設、保育所などを訪ねるケーキボランティアは36年になるそうです。愛の園へは2度目の訪問で、サンタクロースの衣装に身を包んだ村松さんは「各地の皆さんがケーキを食べて少しでも明るい気持ちになってほしい」と笑顔で話してくださいました。ありがとうございました。(A)